

日時：2020年3月20日（金・祝）

13:30～18:00

場所：日仏会館 601号室

（東京都渋谷区/最寄駅 JR・東京メトロ 恵比寿）

※事前申込必要／詳しくは裏面をご覧ください

近代社会の到来とともに成立した社会学は、常に「近代」を研究の土台に見据えてきた。社会学から人類学へという流れの中で、「近代」が相対化される一方、「ポストモダン」をめぐる議論では、現在はもはや「近代社会」ではないのではないかという問いも示される。デュルケーム、ブルデューというフランス社会学の伝統を踏まえつつ、さらに今日の日本の状況をも視野に入れて、モダニティについてあらためて問い直す。

## Repenser la modernité: Durkheim, Bourdieu et au-delà

主催：日本学術振興会「学術研究動向等に関する調査研究」、日仏社会学会、  
デュルケーム/デュルケーム学派研究会  
共催：日仏会館・フランス国立日本研究所、公益財団法人日仏会館



# モダニティを 問い直す

## デュルケーム、ブルデュー、 さらにその先へ

# 社会学と人類学 比較分析の方法

## Sociologie et anthropologie : méthodes d'analyses comparées

日時：2020年3月9日（月）

13:30～18:00

場所：奈良女子大学（奈良市内/最寄駅 近鉄奈良）  
コラボレーションセンターZ306

社会学および人類学における「比較」という研究手法の意味を、デュルケーム、グラネ、レヴィ＝ストロースという系譜において、また具体的な中国社会研究の経験に即して、考究する。

※ 3月10日（火）ラウンドテーブルも開催  
10:30～12:30 奈良女子大学文学系N棟N339

主催：日本学術振興会「学術研究動向等に関する調査研究」、日仏社会学会、  
デュルケーム/デュルケーム学派研究会  
共催：奈良女子大学社会学研究会、神戸大学社会学研究会

3月20日  
(金・祝)

# モダニティを問い直す： デュルケーム、ブルデュー、さらにその先へ

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿3-9-25  
JR山手線：恵比寿駅東口徒歩10分 東京メトロ日比谷線：恵比寿駅1番出口徒歩12分

参加無料  
要オンライン  
申込  
Inscription

Repenser la modernité: Durkheim, Bourdieu et au-delà

13:30~18:00 日仏会館 601号室 Maison franco-japonaise, Salle 601

言語：日本語・フランス語（講演については逐次通訳あり）

日仏会館・フランス国立日本研究所Web siteより参加申込みをお願いします  
[https://www.mfj.gr.jp/agenda/2020/03/20/2020-03-20\\_modernite\\_en\\_sociol/index\\_ja.php](https://www.mfj.gr.jp/agenda/2020/03/20/2020-03-20_modernite_en_sociol/index_ja.php)

参加申込みはこちら→



デュルケーム、ブルデューというフランス社会学の伝統を踏まえつつ、さらに今日の日本の状況をも視野に入れて、モダニティについてあらためて問い直す。

1. 趣旨説明 présentation du colloque (13:30~13:40)
2. 講演 conférence (13:40~15:40)  
ジルダ・サルモン Gildas SALMON  
(国立科学研究センターCNRS・社会科学高等研究院EHESS)  
近代人および非=近代人における機械的連帯と有機的連帯：  
ブルデューと進化主義の危機  
Solidarité mécanique et solidarité organique chez les modernes et les non-modernes:  
Bourdieu et la crise de l'évolutionnisme  
(休憩 15:40~15:50)
3. 報告 interventions (15:50~16:50)  
川本彩花 KAWAMOTO Ayaka (日本学術振興会特別研究員・滋賀大学)  
趣味と階層：文化資本の日本の状況  
Goût et stratification sociale: situation japonaise du capital culturel  
山田陽子 YAMADA Yoko (広島国際学院大学)  
感情資本と新しい労働：有機的連帯の現代的位相  
Capital émotionnel et nouveau travail: phase moderne de la solidarité organique
4. コメント discussion (16:50~17:10) ジルダ・サルモン Gildas SALMON
5. 全体討論 discussion générale (17:10~18:00)



## ジルダ・サルモン Gildas SALMON

哲学者。国立科学研究センター研究員。社会科学高等研究院「反省性に関する学際研究室：ヤン・トマ文庫」所属。  
研究分野：社会科学の歴史、比較研究、人類学(神話、親族、分類)、精神の理論、記号学。

〈主要著作〉

『精神の構造：レヴィ=ストロースと神話』、Presses Universitaires de France, 2013.

『ソプリン債：政治経済と国家』(ユリア・クリストとの共編)、Editions de l'EHESS, 2018.

〒630-8506 奈良市北魚屋東町  
近鉄奈良駅（1番出口）から徒歩約5分

3月9日  
(月)

# 社会学と人類学： 比較分析の方法

参加無料  
申込不要

Sociologie et anthropologie :  
méthodes d'analyses comparées

13:30~18:00 奈良女子大学コラボレーションセンターZ306

Nara Women's University, Collaboration Center Z306

言語：日本語・フランス語（講演については逐次通訳あり）

1. 趣旨説明 présentation du colloque (13:30~13:40)
2. 講演 conférence (13:40~15:40)  
ジルダ・サルモン Gildas SALMON  
(国立科学研究センターCNRS・社会科学高等研究院EHESS)  
神話の構造分析の誕生：デュルケーム、グラネ、レヴィ=ストロース  
Naissance de l'analyse structurale des mythes:  
Durkheim, Granet, Lévi-Strauss  
(休憩 15:40~16:00)
3. 報告 intervention (16:00~16:40)  
佐々木衛 SASAKI Mamoru  
(神戸大学名誉教授 Professeur émérite, Université de Kôbe)  
フィールド研究における方法としての「比較」：  
中国社会研究の経験から  
La «comparaison» comme méthode de recherches sur le terrain:  
à partir de mes expériences des études sur la société chinoise  
(休憩 16:40~17:00)

3月10日  
(火)

ラウンドテーブル：ジルダ・サルモン氏を囲んで

Table ronde : autour de M. Gildas SALMON

10:30~12:30 奈良女子大学

文学系N棟N339教室

参加無料  
申込不要

言語：日本語・フランス語（逐次通訳あり）

話題提供：ジルダ・サルモン  
フランスや日本の社会学の動向や、参加者各人の研究関心をもとに、自由に情報交換をおこないます。

4. コメント discussion (17:00~17:20) ジルダ・サルモン Gildas SALMON
5. 全体討論 discussion générale (17:20~18:00)

奈良女子大学キャンスマップはこちら→  
または「奈良女子大学キャンスマップ」で検索

